2022年（令和4年）9月27日発行・通刊第2352号・毎月2回第2・第4火曜日発行（禁無断転載）

旬刊

福利厚生

No.2352
ISSN1343-568X

2022
September
9
下旬号

特集

パート社員も会員とする共済会は全体の24%

2022年版　共済会・会社の給付・貸付と共済会の福祉事業（1）

共済会の基本事項と祝金

連載 「ハタラクエール2022」受賞法人に聞く（9）
優良福利厚生法人（部門）ミッドサイズ法人部門受賞
日本ナレッジスペース株式会社

連載 Pick Up!注目のワーク・ライフ・サポート（4）
ウォンテッドリー株式会社「Perk」

連載 コロナ禍後の福利厚生の未来を考える（30）
テレワークがもたらす採用力の変化と福利厚生

労務研究所

旬刊　2022年9月下旬号

CONTENTS 2352

福利厚生

特集

2022年版　共済会・会社の給付・貸付と共済会の福祉事業(1)
共済会の基本事項と祝金 …… 5
1　設置率と会員の範囲，専従人件費 …… 6
2　会費，会社補助と収支，資産の状況 …… 7
3　祝金，リフレッシュ補助の給付水準 …… 11
別表1 会員の範囲，専従者の有無，会費・会社補助金 …… 18
別表2 共済会の収入，経費および資産の状況（2021年度） …… 28
別表3 結婚，出産，入学，リフレッシュ補助，その他の祝金 …… 32

ハタラクエール
ハタラクエール（福利厚生表彰・認証制度）事務局
10月1日より応募受付を開始 …… 47
～「ハタラクエール2023」の認証・表彰を受けるためのポイント～

福利厚生調査
三井住友信託銀行「福利厚生に関するアンケート」
企業が抱える福利厚生の課題とは …… 49

両立支援
一般社団法人 アンコンシャスバイアス研究所「がんと仕事に関する意識調査」
治療と仕事の両立の鍵は上司の理解・支援 …… 51

勤労者の意識
日本生産性本部「働く人の意識に関する調査（第10回）」
コロナ禍が勤労者に与えた影響 …… 56

若手社員の意識
パーソル総合研究所「働く10,000人の就業・成長定点調査」
2022年の若手社員像と求められるマネジメント …… 59

連載　第9回
「ハタラクエール2022」受賞法人に聞く
優良福利厚生法人（部門）ミッドサイズ法人部門受賞 …… 45
日本ナレッジスペース株式会社

連載　第4回
Pick Up ！注目のワーク・ライフ・サポート
ウォンテッドリー株式会社「Perk」 …… 54

緊急連載 第30回
コロナ禍後の福利厚生の未来を考える　西久保 浩二
テレワークがもたらす採用力の変化と福利厚生 …… 62

福利厚生費
企業福利厚生費季報（財務省2022年4～6月期） …… 64

ホームページアドレス　https://rouken.com/
小社の出版物の案内・購入ご注文にもご利用下さい。

連載 第9回　「ハタラクエール2022」受賞法人に聞く

優良福利厚生法人（部門）ミッドサイズ法人部門受賞

日本ナレッジスペース株式会社

～社員とその家族の健康を考慮した経営を実践～

日本ナレッジスペース株式会社（以下「同社」）は，優良福利厚生法人（福利厚生への熱意/ミッドサイズ法人）として表彰を受けた。

同社は2014年4月に創業したシステム開発会社で，22年9月現在，本社を東京都港区に，支社を大阪府大阪市に構えている。

創業者である松岡竜邦・代表取締役に，同社の取り組みや経営方針などについて聞いた。

日本ナレッジスペース（株）　概要（2022年3月31日現在）

業　　種　サービス業
事業概要　情報処理，システム開発
従業員数　72人
非正規社員の割合　3.4％
男 女 比　男性　90％　女性　10％
平均勤続年数（正規従業員）　2.6年
平均年齢（正規従業員）　31.0歳
多い職種　システムエンジニア

受賞のポイント

福利厚生表彰・認証制度の審査は，図表1の6つの評価軸でスコア化・評価される。同社は⑤「福利厚生への熱意」の評価軸で特に高い評価を受けた。

その要因は，エンジニアのための健康支援，健康管理に注力した福利厚生を多彩に取り揃えるなど，経営の一手段として福利厚生を活用していることにある。

加えて定期的に従業員の声を集め，新たな福利厚生を導入している積極的な姿勢なども評価を高めた。

図表1　　ハタラクエールの審査6分野

評価軸	評価内容
①経営課題への対応	自法人の人事･労務上の課題をどれほど把握し，その課題に福利厚生の活用でどれだけ対応しているか
②現状把握	福利厚生の目的をどう位置付け，福利厚生がどれだけ効果を発揮しているかを把握しているか，把握の方法はどうしているか
③制度充実	福利厚生制度をどれだけ整備しているか，さらに現状を踏まえて今後充実の方向性はあるか
④運用充実	実施している福利厚生制度が十分利用されているか，正社員だけでなく非正規社員を含む多様な従業員にも福利厚生が適用され，利用されているか
⑤福利厚生への熱意	経営者および福利厚生担当者の福利厚生取り組みへの理念・ポリシー・思いは十分か
⑥その他	自発的離職の程度等

福利厚生の実施目的，経営者の思い

一般的に座り仕事が中心となるシステム開発業務は，運動不足をはじめ，長時間労働，不摂生な食事などが常態化しやすく，社員が体調を崩しがちだとされる。

松岡氏は同社を立ち上げる際，「エンジニアの健康に配慮した会社にしたい」と考え，同社のビジョンに「社員とその家族の健康を考慮した経営を実践する」および「働く人の健康はまさに経営によって創造される未来である」を盛り込んだ。

従業員の健康を経営的視点から考え，戦略的に実施する「健康経営」にも早くから取り組み，19年2月には健康経営優良法人の初認定を受けている。松岡氏自身も「健康経営エキスパートアドバイザー」の認定を受けている。

こうした背景から，社員の健康支援，健康管理を中心とした福利厚生が充実していった。現在，約50種類ある福利厚生のうち，社員の健康に関するメニューは半分近くを占めている。

特徴的な福利厚生

遺伝子検査制度・栄養素補助制度　同社の多彩

な福利厚生ラインナップの中からユニークなものをピックアップする。

まずは，希望する社員を対象に，遺伝子検査を通じて体質・食事・運動分析を行う「遺伝子検査制度」と，検査結果に基づいて不足しがちな栄養素のサプリメントを社員に毎月提供する「あなたに最適な栄養素補助制度」がある。

企業が社員の遺伝子検査を行うというのは珍しい印象があるものの，実際には科学的な根拠に基づいて社員の健康に具体的にアプローチしている制度である。

睡眠改善補助制度　上質な睡眠環境を提供するため，睡眠外来への通院費用補助や，社員一人ひとりにオーダーメイド枕（3万8,000円相当）をプレゼントするという睡眠対策に関する制度などもユニークだ。

各種がん検査制度　「がん」に特化した検査として「線虫がん検査」や「がんのリスク評価」を希望者全員に行っている。

リスクが高いと評価された場合は全国の医療機関で「がんドック」を受診できる制度を整えている。この取り組み等が高く評価され，厚生労働省より「がん対策推進優良企業」を受賞している。

その他の特徴ある制度　「時間単位で取得可能な有給休暇制度」「GLTD制度」「配偶者の健康診断補助制度」「花粉症予防対策補助制度」「マッサージ手当制度」「頭痛改善補助制度」「視力ケア補助制度」など，多くの制度を取り揃えている。

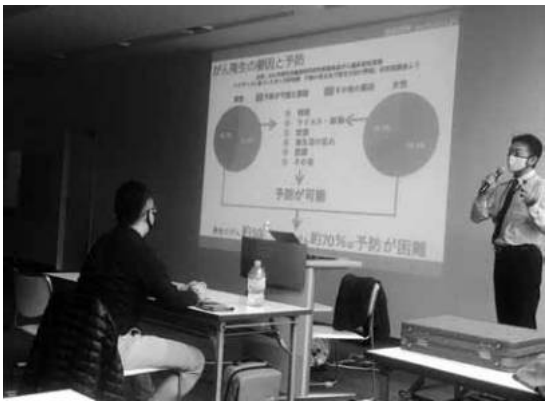
また，社員の健康リテラシーを高めるため，全体会議などの機会には，健康に関する各種専門家を招聘して，出張セミナーも開催している（図表2）。

一番人気の身だしなみ補助制度　数ある福利厚生制度の中で，社員から一番人気があるのは「身だしなみ補助制度」だ。ほぼ100％の社員が活用しているという。

同社は「身だしなみはビジネスマナーの基本であり，周囲と円滑な関係・協業を実施する上で重要」との考えから，社員が身だしなみにかける費用を補助している。利用は年3回までで，1回当たりの上限は5,000円だ。

人気の理由は，補助対象の幅の広さにある。スーツやネクタイ，化粧品などの購入費用をはじめ，整髪，ネイルケア，歯のホワイトニングなどにも

図表2　　がん予防の出張セミナー



補助が適用されている。

また，利用の申請方法についても，社員は「かかった費用の領収書を提出するだけ」という，手軽さも利用頻度を高める要因につながっているという。

今後の課題と取り組みについて

充実した福利厚生の提供を可能にしているのがコストを抑えた経営手法だ。最たるものは，社員のほとんどがエンジニアで，バックオフィス担当者がごく少数という割り切った社員構成。東京，大阪にあるオフィスについても，広さや豪華さを求めずに「必要最低限で間に合わせている」と松岡氏は話す。

「抑えた分だけ社員に還元する」「福利厚生は使わないと意味がない」との方針・考えも根付いている。社内では最低でも2カ月に一度は課ごとにミーティングを実施し，福利厚生に関するテーマも頻繁に盛り込み，社員の要望やアイデアを募るとともに，制度を利用していない社員に対して利用を促す場としている。

今後導入したい具体的な制度としては「健康のために一品野菜等を」の想いから，健康に良い食事の提供を考えている。昨今の働き方改革で業務先の多様化が進む中，場所に関わらず利用できる飲食店やコンビニと提携した「社員食堂制度」を考えている。

松岡氏の考えや同社の福利厚生内容を通じ，病気になった後の保障も大事ではあるが，健康維持や予防への対策の方が，社員や家族，会社経営にとってより重要であることを改めて認識させられた。

「旬刊福利厚生」について

この記事が掲載されました「旬刊福利厚生」は、
日本で唯一の福利厚生専門雑誌です。
1950年に発刊され、70年間福利厚生業界をリードしています。
内容は、下に示すように、各社の福利厚生制度の具体的内容、
企業の福利厚生事例の取材等、最新かつ具体的です。
年間24回発行され、年間定期購読でお読みいただけます。

「旬刊福利厚生」の主な内容

福利厚生専門誌だからこそできる企業の福利厚生施策調査

調査例：
- ●健康経営・健康増進に関する取り組み調査
- ●社宅制度、借上社宅制度の調査
- ●事業所内医療従事者の勤務形態と月収・年収
- ●生活関連諸手当の最新水準
- ●法定超のワーク・ライフ・バランス支援制度
- ●健康増進、疾病予防施策への各社の取り組み
- ●カフェテリアプラン制度調査

一歩進んだ「福利厚生実践企業」に取り組みを聞く！事例取材

取材例：
- ●探訪！我が社の保育園（進化する企業内保育事業）
- ●健康経営推進企業の先進事例

福利厚生を理論面から支援する専門家による連載

連載例：
- ●今、福利厚生がおもしろい！（山梨大学　西久保浩二教授）
- ●性的思考や性自認にまつわる企業の課題と福利厚生施策
  （社会保険労務士法人 LGBT&Allies 共同代表特定社会保険労務士　小田瑠依）
- ●福利厚生制度の設計から規程整備まで（千葉商科大学会計大学院　可児俊信教授）

購読料　1年 68,640円(税別)　半年 36,700円(税別)　1冊 2,860円(税別)

スマホから簡単アクセス!

見本誌のお申し込み・お問い合わせはこちら!

☎03-3583-5830　✉ info@rouken.com

見本誌請求フォーム https://form.rouken.com/mihon

無料で見本誌をお届けいたします!

さらに、今なら1年購読契約をされた方は

過去1年分の当誌PDFのダウンロードができます!
当誌最新刊行本もプレゼント!（「新しい!日本の福利厚生」）

発行元：㈱労務研究所　URL https://rouken.com
東京都港区赤坂3-21-15 東都赤坂ビル ☎03-3583-5830